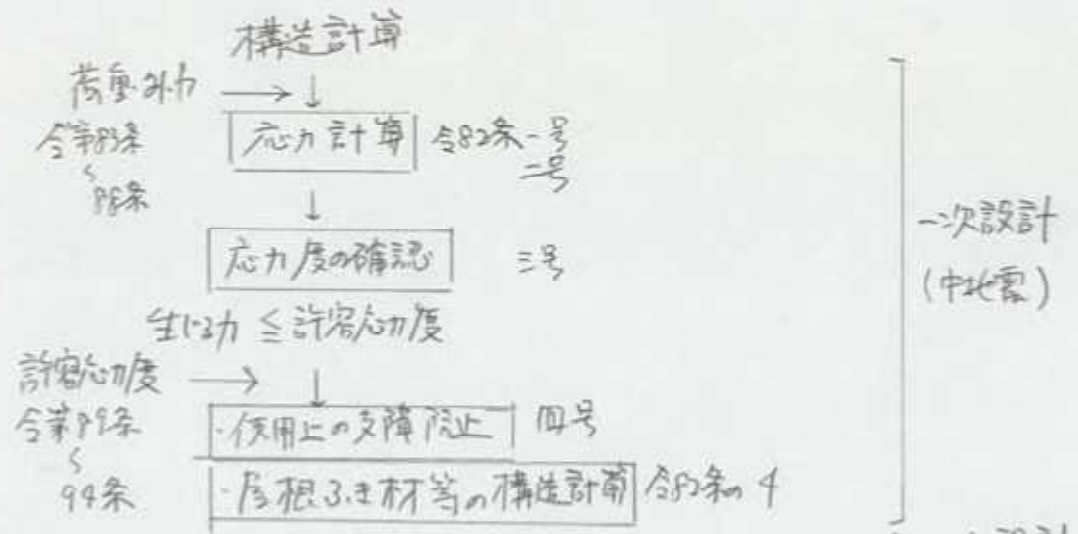


学科構造 令和3年No.18 鉄骨構造の耐震計算



令第82条の3

・保有水平耐力の確認

必要保有水平耐力 ≤ 保有水平耐力

$(Q_{un}) \leq (Q_u)$

$Q_{un} = D_s \cdot F_{ec} \cdot Q_{ud}$

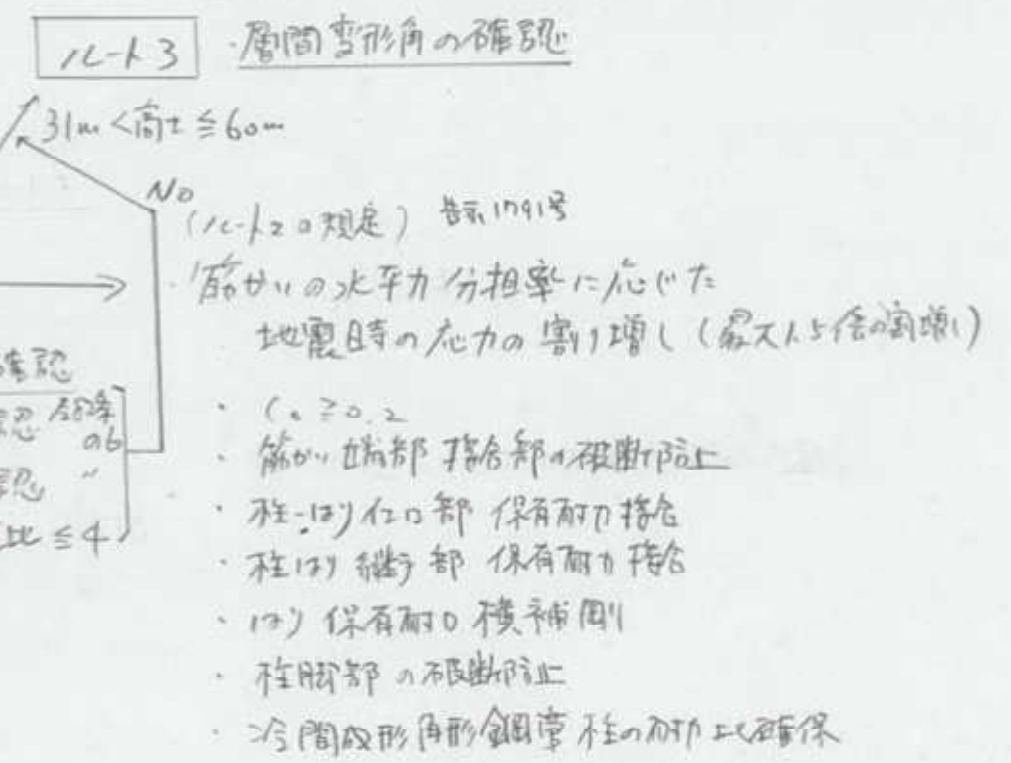
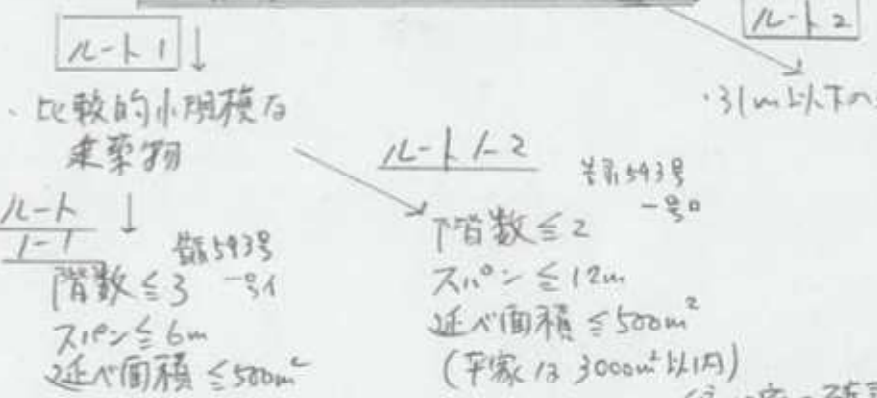
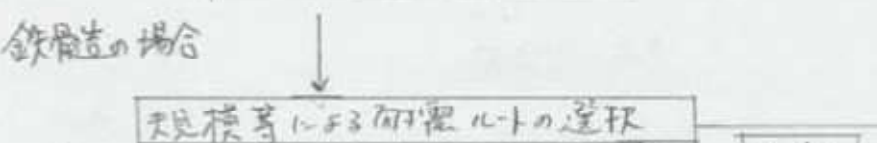
D_s : 建築物の靱性正考慮に定めた数値

F_{ec} : 各階の偏心率・剛性率による数値

Q_{ud} : 地震による各階に作用する水平力

一次設計 (中地震)

二次設計 (大地震)



- 令第82条の2 ↑
- ・層間変形角の確認
- ・偏心率の確認 第85条 0.6
- ・剛性率の確認 "
- ・建築物の塔状比 ≤ 4

ル-1-3 (ル-1-3の規定) ↓

・ $(\alpha \geq 0.3)$ (地震力の割増)

・筋の端部接合部の破断防止

・柱・12) 継部 保有耐力接合

・柱・12) 継部 保有耐力接合

・12) 保有耐力 横補剛

・柱脚部 破断防止

・冷間成形角形鋼管柱の応力割増